

第 5 回オーガニックカンファレンス/官民連携創出会議を開催！

日本オーガニック会議（OCJ：井村辰二郎実行委員長）は、一般社団法人オーガニックフォーラムジャパン（OFJ）との共催で、10 月 2 日～4 日に第 5 回「オーガニックカンファレンス（JOC）」を開催します。JOC は OFJ が主催する「第 10 回オーガニックライフスタイル EXPO（OLE@東京都立産業貿易センター浜松町館）」で同時開催されます。日本オーガニック会議（OCJ：2021 年～）は持続可能な社会の創出を目指し、有機農業を中心に持続可能な農業やオーガニック市場の拡大を目的として、様々な事業者や消費者を繋ぎ情報交換や政策提言を行うプラットフォームです。<https://organiccongress.jp/>

本カンファレンスは、OCJ 実行委員会メンバーをはじめオーガニックに関する幅広いステークホルダーや専門家が、最新のトピックなどについて議論します。具体的なタイトルは以下の通りです。「オーガニック給食への有機食材の安定供給に向けて～有機加工食品コンソーシアムの事業事例～」「食の選択が未来を育てる：シェフズ・マニフェストの実践とオーガニックの可能性」「生物多様性がカギ！コメ不足・担い手不足時代の食と農～環境保全と持続可能な農業を両立させるためのこれからの直接支払い制度のあり方を考える～」「地球沸騰化の時代にオーガニックコットンがなぜ必要なのかーVersion 2ー」※「官民連携創出会議」他。各セッションの詳細はこちら <https://ole.ofj.or.jp/semi-event.html>

■官民連携創出会議：世界の有機農地とオーガニック市場は、30 年以上右肩上がりの成長を続けており、欧州で 1,770 万 ha（約 11%）の約 8.2 兆円でアメリカは約 10 兆円に。ドイツでは 191 万 ha（約 11.5%）で 3 兆円弱に達しています。日本は 1 万 5 千 ha（0.7%）で 2,240 億円（2022 年）ですが、「みどり戦略」で成長に勢いも。本会議は、農水省・環境省等の行政機関と OCJ に集う多様な民間メンバーが官民一体となってオーガニックの普及・拡大に向けて議論し、連携アクションを創出するための会議です。農水省から、農産局農業環境対策課長 松本賢英氏も参加予定です。<https://x.gd/fecnL>

■オーガニックビレッジ連携会議 EAST：地域ぐるみで有機農業の推進に取り組む「オーガニックビレッジ宣言」をした市町村は、全国で 150 市町村を超えて拡大中です。これらの自治体同士が横につながり、情報共有と連携強化を目指して、昨年 6 月に OFJ が主催（OCJ も共催）して「オーガニックビレッジ連携会議 WEST」を初めて京都で開催。今年の第 2 回にも多くの関係者の参加を得て、大きな反響がありました。今年は 10 周年を迎える OLE 東京の会場で、全国から 12 の自治体が集い、第 2 回の「オーガニックビレッジ連携会議 EAST」を開催します。<https://ofj.or.jp/doc/20241118-2.pdf>

■第 5 回「オーガニックカンファレンス/官民連携創出会議」/OLE 開催概要 <https://ole.ofj.or.jp/>

日 時：2025 年 10 月 2 日～10 月 4 日 <https://ole.ofj.or.jp/semi-event.html>

場 所：オーガニックライフスタイル EXPO 内：東京都産業貿易センター浜松町館 4 階

【お問合せ先】日本オーガニック会議事務局

〒104-0032 東京都中央区八丁堀 2-22-8 内外ビル 7 F OFJ 内 担当：郡山

携帯:080-5184-2095 E-mail:masaya.koriyama@gmail.com 公式 HP：<https://organiccongress.jp/>